

第 47 回鋼構造基礎講座



「失敗から学ぶ

～落橋・損傷事例から知る留意点～

鋼構造委員会・鋼構造継続教育推進小委員会では、土木学会継続教育（CPD）の一環として、鋼構造の初級、中級技術者を主な対象とした基礎講座を例年開催しております。今回は多くの方への受講機会提供の観点から、対面方式に加えてオンライン配信により、第 47 回鋼構造基礎講座「失敗から学ぶ～落橋・損傷事例から知る留意点～」を開催することになりました。

日本では高度成長期に整備された数多くの社会基盤の老朽化が進行しており、老朽化する橋梁の維持管理の重要性が認識され、5年に1度の定期点検も3巡目に入ろうとしています。一方、海外では大規模橋梁の落橋事故も発生していることから、定期的な維持管理と合わせて、既設橋梁の耐荷性能の評価が課題となっています。

本講座では、国内外の既設橋梁の落橋事例や損傷事例の紹介に加え、これらの事例を契機として発展した耐荷力の性能評価方法についても紹介します。

鋼橋の計画・設計に従事される方、維持管理に役立てたい発注者の方など、どの立場の方々にとっても参考になる講座ですので、ふるってご参加下さい。

1. 主催 土木学会（鋼構造委員会 鋼構造継続教育推進小委員会）
2. 期 日 2024年11月11日（月） 13:00～16:45
3. 会 場 土木学会講堂（WEB配信併用）（ZOOMウェビナーによる配信）
4. 参加費 対面方式 正会員 3,300円、非会員 4,400円、学生 1,100円
WEB配信 正会員 3,300円、非会員 4,400円、学生 1,100円
（講座データ配信代を含む）

5. プログラム

- 13:00 ～ 13:10 : 開会の挨拶
大垣 賀津雄（鋼構造継続教育推進小委員会委員長）
- 13:10 ～ 13:55 : 1. 鋼アーチ橋の崩落事故事例
林 巖（大阪公立大学大学院工学研究科 助教）
- 13:55 ～ 14:40 : 2. ピッツバーグ道路橋崩落他事故事例
高木 千太郎（アイセイ株式会社）
- 14:40 ～ 14:50 : 休憩
- 14:50 ～ 15:35 : 3. 鋼橋の疲労損傷事故・事例に学ぶ
森 猛（法政大学 名誉教授）
- 15:35 ～ 16:20 : 4. 既設橋の性能評価（モニタリング&Load Rating）
宮下 剛（名古屋工業大学社会工学科 特任教授）
- 16:20 ～ 16:40 : 5. 世界の落橋からわかる留意点
大垣 賀津雄（ものづくり大学建設学科 教授）
- 16:40 ～ 16:45 : 閉会の挨拶
小藤 輝正 [鋼構造継続教育推進小委員会幹事長]
司会 大宅 克幸 [鋼構造継続教育推進小委員会]

なお、当日の講演内容、時間、講演者等につきましては、都合により変更の場合がありますのでご了承下さい。

6. 申込方法 参加形態にご注意の上、土木学会 HP からお申込み下さい。
支払完了後の変更・キャンセルはできませんのでご注意ください。

申し込み URL

【対面参加】 <https://www.jsce.or.jp/events/form/252405>

【オンライン参加】 <https://www.jsce.or.jp/events/form/2524051>

7. 申込期限 クレジットカード決済：2024年11月7日（木）
コンビニ決済：2024年10月31日（木）

8. CPDについて 本講座は土木学会CPD認定プログラムです。（申請中）

9. 問合せ先 （公社）土木学会 鋼構造委員会担当事務局宛
Email: momoi" at" jsce.or.jp ※at を@に変更してください